

平成25年10月13日

平成25年度地球環境基金助成事業

ちば里山カレッジ実施報告書 (3)

特定非営利活動法人ちば里山センター

テーマ	第3回 講義&フィールド研修 (バスツアー) 「自然環境問題」 講義：里山ー自然と人間とのかかわり
日時	平成25年10月12日(土) 8:20~17:30
場所	東京大学千葉演習林
出席者	受講生35名 講師；東大千葉演習林 山田教授、森林インストラクター会：寺澤、相馬 フィールドアシスタント講師：東大演習林 當山助教 森林インストラクター会 岩崎
内容	・ 8:20 ちば里山センターを出発 バス2台に分乗 ① 車内で、森林インストラクターによる演習林についての説明があった。 ② 演習林内学生宿舎にて山田演習林長による講義「里山ー自然と人間とのかかわり」。 本多静六山林王の提言により演習林が設営されたことから始まる演習林の歴史や現況・里山整備と生物多様性等今後の活動に有意義な講義を受けた。 ③ 演習林発祥地である浅間山を見てから清澄寺大杉を見学。 ④ 清澄作業所棟内の森林博物資料館を見学。昔の作業の様子を示す資料や林業用具等貴重な展示を見学。大きな炭焼き窯の説明。 ⑤ 午後はバスで登山道を移動し急峻な南総丘陵を見下ろしながら、モミ・ツガ天然林、学生やボランティアによる森林伐採後の植林地(サルが5~6匹見えた)、昔のカヤ場跡が約150年後にはすっかり天然林になっている様子等見学した。 ⑥ 今澄長伐期施業試験の杉の人口林の説明を受け演習林をあとにした。 ⑦ 外国樹見本林・松野初代校長の功績を記念する石碑を見学。現地アシスタントの方と別れ帰路についた。 ・ 17:30 ちば里山センターに到着・解散
備考	ヒル対策(虫除けスプレーとズボンの裾をテープで巻く)をしたつもりだったが、3名の方が被害を受けた。 やはり食塩水が効果がありそうである。ニコチンも効果があると聞いた。
その他 振り返り シートより 抜粋	良かったこと ○東大演習林の歴史や生物多様性がよくわかった。 ○インストラクターの方々の説明が良かった。 ○南総丘陵の険しさがわかった。 ちょっと残念だったこと ○バスの都合で途中で引き返したこと。 こうだったらいいのにな ○歩きたかった。

添付資料 (写真)



山田林長の講義



浅間山遠望



清澄寺の大杉



森林博物資料館



炭焼き窯



モミ・ツガ天然林



急峻な南総丘陵



今澄杉林



学生とボランティアによる伐採と植林を実施した場所



外国樹種日本林

報告書作成：杉田 初代